



平成 20 年 5 月 15 日

平成 20 年 6 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

**ULVAC**

上場会社名 株式会社アルバック 上場取引所 東証一部  
 コード番号 6728 URL <http://www.ulvac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諏訪 秀則  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 常見 佳弘 TEL (0467)89-2033

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 6 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 7 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年6月期第3四半期	171,742	1.6	4,726	△61.0	3,352	△72.8	3,005	△42.7
19年6月期第3四半期	169,025	12.1	12,124	50.1	12,314	52.8	5,242	36.8
(参考)19年6月期	239,151	12.6	16,625	12.4	16,105	8.9	7,335	△9.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年6月期第3四半期	70	05	65	09
19年6月期第3四半期	122	20	—	—
(参考)19年6月期	170	99	168	04

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年6月期第3四半期	310,091		90,176		27.9	2,013	42	
19年6月期第3四半期	309,621		91,185		28.1	2,031	54	
(参考)19年6月期	317,577		94,365		28.4	2,105	48	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年6月期第3四半期	10,757		△19,431		18,047		21,832	
19年6月期第3四半期	△7,975		△17,368		27,303		15,250	
(参考)19年6月期	1,131		△26,850		23,738		11,664	

2. 配当の状況

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 16 日に公表いたしました平成 20 年 6 月期の 1 株当たり期末配当予想を見直し、下記のとおり修正いたしました。詳細につきましては、平成 20 年 5 月 15 日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(配当予想の修正)

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
平成 20 年 6 月期 (予想)	—	—	—	21	00	21	00
平成 19 年 6 月期 (実績)	—	—	—	47	00	47	00

3. 平成 20 年 6 月期の連結業績予想（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	251,000	5.0	7,200	△56.7	5,000	△69.0	3,100	△57.7	72	27

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動） : 有  
[新規 1社（社名 ULVAC Taiwan Manufacturing Corporation） 除外 0社]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、7 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、通期の業績予想につきましては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、修正しております。詳細につきましては、平成 20 年 5 月 15 日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【企業集団の状況】

当社グループは、当社、子会社51社、関連会社8社からなり、真空技術が利用されているさまざまな産業分野に多岐に渡る製品を生産財として提供している真空総合メーカーであります。

事業内容は、真空技術を基盤として、真空装置・機器やサービスを提供する「真空関連事業」と真空技術の周辺技術を基盤として、主に材料や表面解析等を提供する「その他の事業」に区分できます。

各々の事業区分ごとの主要製品は下表のとおりであります。

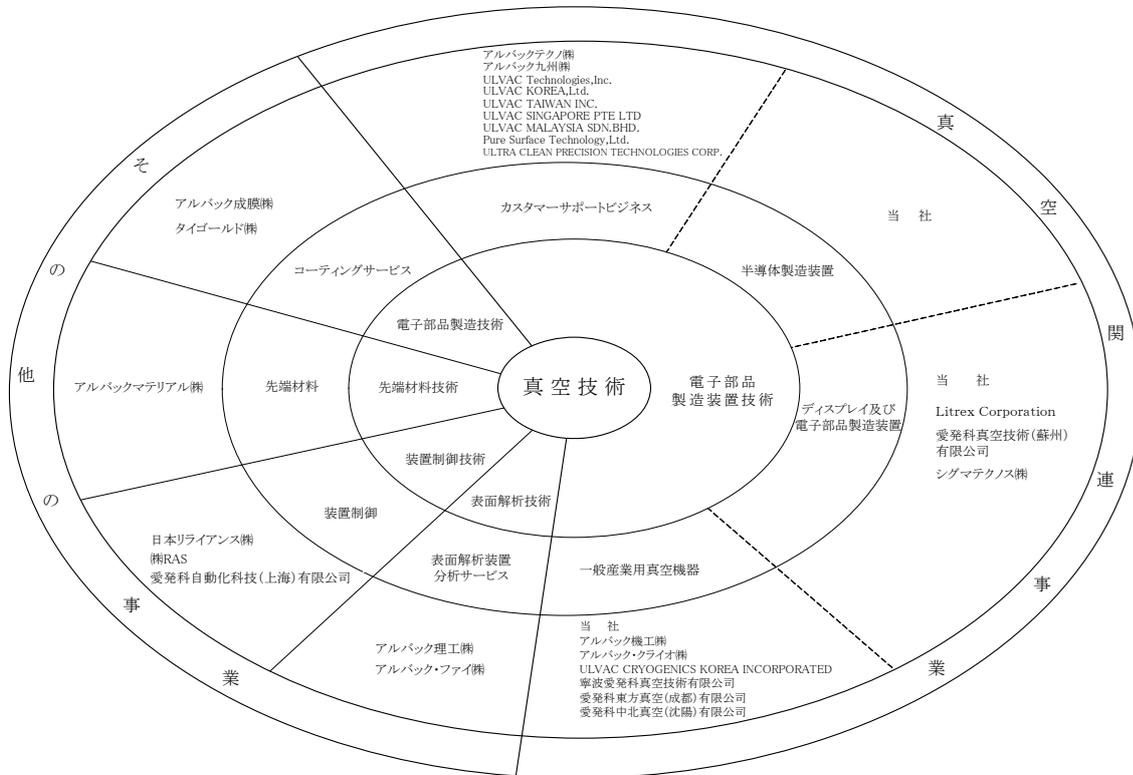
事業区分		主要製品
真空関連事業	ディスプレイ及び電子部品製造装置	スパッタリング装置、プラズマCVD装置、有機EL製造装置、真空蒸着装置、エッチング装置、固体レーザーアニール装置、インクジェットプリンティング装置、スクリーン印刷機、液晶滴下・真空貼り合せ装置、PDP点灯試験器、太陽電池製造装置
	半導体製造装置	スパッタリング装置、エッチング装置、イオン注入装置、レジストストリッピング装置、メタルCVD装置、減圧CVD装置、ウェーハ前処理（自然酸化膜除去等）装置、ウェーハバンプ検査装置
	コンポーネント	真空ポンプ（ドライポンプ、油回転ポンプ、メカニカルブースタポンプ、油拡散ポンプ、スパッタイオンポンプ、クライオポンプ、ターボ分子ポンプ）、各種真空計、ヘリウムリークディテクタ、各種ガス分析計、表面形状測定装置、非接触型金属膜厚測定機、各種電源、成膜コントローラ、各種真空バルブ、各種真空部品（導入端子、真空覗き窓、真空用マニピレータ他）、真空搬送ロボット／真空搬送コアシステム
	その他	超高真空装置、カーボンナノチューブCVD装置、グラファイトナノファイバーCVD装置、MOCVD装置、超高真空排気装置、スパッタリング装置、MBE装置、イオンビーム応用装置、真空溶解炉、真空熱処理炉、真空焼結炉、真空巻取蒸着装置、蒸着重合装置、真空ろう付炉、凍結真空乾燥装置、真空蒸留装置
その他の事業	スパッタリングターゲット材料、蒸着材料、チタン・タンタル加工品、高融点活性金属（Ta、Nb、W、Mo）、表面処理・精密洗浄、超微粒子（ナノメタルインク）、オージェ電子分光分析装置、X線光電子分光分析装置、二次イオン質量分析装置、熱分析・熱物性測定装置、近赤外線イメージ炉応用機器、各種産業機械駆動用制御装置、高電圧インバータ装置、電源回生コンバータ装置、無停電電源装置、非接触測長装置	

また、当社グループの主要製品の概要は、次のとおりであります。

主要製品	概要
スパッタリング装置	真空中で金属やシリサイドなどの金属の材料に、高エネルギーのアルゴン原子をぶつけ、それに叩かれ飛び出してくる金属原子を付着させて成膜する装置。
CVD装置	つくる薄膜の種類に応じて原料をガス状態で供給し、下地膜の表面における化学触媒反応によって膜を堆積させる装置。
エッチング装置	真空中に被エッチング材料を入れ、その材料に合わせてエッチングガスを導入しプラズマ化し、エッチング種が被エッチング材料に吸着されると表面化学反応を起こし、エッチング生成物を排気除去する装置。
真空蒸着装置	真空中で特定の物質を熱し、そこから蒸発する原子や分子をより温度の低い面に凝縮させて、表面に膜を形成する装置。
真空熱処理炉	真空中で各種金属の焼入、ろう付、焼戻、容体化、時効、磁性処理等を行う装置。

以上のような装置により、携帯電話、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末（PDA）、携帯音楽プレイヤー、太陽電池、光通信デバイス、デジタル家電、薄型テレビ、自動車等の最終製品を構成するディスプレイ及び電子部品等が生み出されております。

当社グループは、装置・コンポーネントだけでなく、材料、解析機器、サービスを総合的に「アルバックソリューションズ」として提供することにより、グループとしてのシナジー効果を発揮しております。また、真空装置・機器とプロセス技術を組み合わせた顧客への提案も行ってまいります。  
アルバックソリューションズを構成する当社及び主なグループ会社は、次のとおりであります。



アルバックソリューションズの一環として、カスタマーズサポート（CS）ソリューションパッケージは、フィールドサービスの他、装置改良改善（CIP）活動、部品提供、成膜材料提供、装置部品再生、洗浄及び表面処理、分析サービス、中古機提供、オペレーティングリースなどの総合サービスを提供しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主要なお客様であるFPD(フラットパネルディスプレイ)業界では、当期前半は液晶ディスプレイを中心に生産調整による設備投資計画の凍結や延期がありました。当期後半より台湾、韓国、日本を中心に設備投資が活発化してまいりました。一方、半導体業界では、フラッシュメモリ関連を中心に活発な投資が行われましたが、メモリ価格の下落に伴い、設備投資計画の延期が相次ぎ、先行き不透明な状況になりました。エネルギー・環境関連では、CO<sub>2</sub>削減といった環境意識の高まりから太陽電池やハイブリッドカー関連の需要が拡大することに加え、発光ダイオード(LED)など新たなエネルギー・デバイスの需要が拡大してまいりました。

当社グループは、このような経営環境に対処するため、独創的な新製品を競合他社に先駆けて市場に投入し、アルバックソリューションズの推進による積極的な受注活動を行ってまいりました。成長する地域である中国、韓国、台湾への投資を実施するだけでなく、当社の成長戦略である「ポストFPD戦略」を見据えた日本国内での投資を引き続き行ってまいりました。また、「ポストFPD戦略」を実現するための新技術・新製品開発の投資を積極的に行ってまいりました。

さらに、お客様からの価格引き下げ要求が継続する一方、原材料価格の高騰中、生産改革の推進、グループ内垂直統合と内製化によるもの作りの推進などによるコストダウンを図ることに加え、諸経費の削減を継続することで固定費の圧縮を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の業績につきましては、受注高2,082億13百万円(前年同期比191億40百万円(10.1%)増)、売上高は1,717億42百万円(同27億17百万円(1.6%)増)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間の損益につきましては、営業利益は、47億26百万円(同73億98百万円(61.0%)減)、経常利益は、33億52百万円(同89億62百万円(72.8%)減)となり、第3四半期純利益につきましては、30億5百万円(同22億37百万円(42.7%)減)となりました。

《真空関連事業》

真空関連事業を品目別にみますと下記のとおりです。

(ディスプレイ及び電子部品製造装置)

主に台湾、韓国、中国において、中小型液晶ディスプレイや大画面液晶TV用の液晶ディスプレイ枚葉式スパッタリング装置「SMDシリーズ」やインライン式スパッタリング装置「SDPシリーズ」などの売上が堅調に推移いたしました。電子部品製造装置では、パワー半導体用のスパッタリング装置「SRHシリーズ」などの売上が引き続き堅調でした。また、受注につきましては、大画面液晶TV関連の設備投資計画が活発化し急回復したことに加え、台湾、中国などアジア地域での薄膜太陽電池の設備投資計画が急増し、薄膜太陽電池一貫ラインなどの受注や引き合いが急拡大してまいりました。

(半導体製造装置)

デジタル家電関連では、携帯電話、携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラなどに使用されるフラッシュメモリ、DRAMなどのメモリ関連の設備投資が積極的に行われました。信頼性や生産性の向上を図ったスパッタリング装置「ENTRON™-EXシリーズ」やバッチタイプ自然酸化膜除去装置「RISEシリーズ」などの受注・売上が好調に推移しました。また、アジアを中心に生産性を向上したLED用エッチング装置やパワー半導体用イオン注入装置の受注・売上が堅調に推移しました。

(コンポーネント)

主にFPD業界における設備投資計画の延期などの影響で、真空ポンプや表面形状測定装置などの受注が低調でしたが、液晶ディスプレイをはじめとするFPD関連の設備投資計画の活発化により回復してまいりました。一般産業分野における真空ポンプや計測器(真空計、ヘリウムリークディテクタ)、太陽電池向けの真空ポンプの受注・売上が引き続き堅調に推移しましたが、小型真空ポンプ関連は低調に推移しました。

(その他)

主に一般産業機器関連では、自動車業界向けの真空熱処理炉「FHHシリーズ」真空溶解炉「FMIシリーズ」や真空蒸着装置、医薬品向けの真空凍結乾燥装置「DFシリーズ」の売上がありましたが、お客様の設備投資計画延期などの影響を受け厳しい状況でありました。

その結果、真空関連事業の受注高は1,770億64百万円、受注残高は1,392億97百万円、売上高は1,421億18百万円となりました。また、営業利益は46億17百万円となりました。

《その他の事業》

その他の事業につきましては、アルバックソリューションズを生かしたグループ全体の積極的拡販活動を行いました。主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットの材料ビジネスで、販売価格の下落にコストダウンが追いつかず収益が厳しい状況でした。制御関連では、金属業界や自動車業界において、制御システムの受注が堅調に推移しましたが、お客様の設備投資計画延期などの影響を受け厳しい状況でありました。分析機器関連では、X線光電子分光分析装置「PHI5000 VersaProbe™」の受注・売上が好調でした。

その結果、受注高は311億49百万円、受注残高は96億43百万円、売上高は296億24百万円となりました。しかし、材料ビジネスの利益率の低下などにより、3億45百万円の営業損失となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態の変動状況

資産は、前連結会計年度末に比べ74億85百万円減少して、3,100億91百万円となりました。有形固定資産が108億12百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が101億円、たな卸資産が93億19百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ32億96百万円減少して、2,199億16百万円となりました。借入金が259億15百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が160億18百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ41億89百万円減少して、901億76百万円となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益と減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、仕入債務の減少などのマイナス要因があり、107億57百万円の収入となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得、有形及び無形固定資産の取得などにより、194億31百万円の支出となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・アウト・フローに対応するための資金調達として、借入金が200億28百万円増加したことなどから、財務活動によるキャッシュ・フローは180億47百万円の収入となりました。

以上により、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ101億68百万円増加し、218億32百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的な情報

当社の通期の業績予想につきましては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、修正しております。詳細につきましては、平成20年5月15日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
有〔新規 1社（社名 ULVAC Taiwan Manufacturing Corporation） 除外 0社〕

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却方法）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当中間連結会計期間より平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

（技術部、設計部に係る費用の計上区分の変更）

従来、当社の、技術部、設計部を製造部門の一部と位置づけ、その費用を売上原価に計上していましたが、当中間連結会計期間より、各人員の業務活動単位ごとに費用を集計し、営業支援活動や、見積活動並びに開発活動に係る工数に対応する費用については、販売費及び一般管理費に計上することに変更しました。

この変更は新規装置の受注が開発的要素の強い技術革新の進んだものへとシフトする中、技術部、設計部の人員の積極的な採用を行い、営業支援活動工数の製造部門工数に占める割合も増加傾向にあることから、当中間連結会計期間において原価計算の製造固定費配賦基準の見直しを契機に製造部門の人員の業務活動単位を見直し、作業日報作成の徹底並びに作業時間管理を強化し、各人員別のより詳細な業務活動単位ごとの工数を明確に区分して把握することにより、会社の活動の実態をより適正に表示することを目的とするものです。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、売上原価は45億49百万円減少し、売上総利益は同額増加しますが、販売費及び一般管理費が同額増加するため、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

〈追加情報〉

（製造固定費の配賦方法の見直し）

当社及び一部の国内連結子会社は従来、製造固定費の一部を製造指図書に配賦せず売上原価に計上していましたが、当中間連結会計期間において、売上原価と期末仕掛品に配賦しております。

この見直しは、太陽電池製造向け一貫ラインの製造開始等に伴い、当連結会計年度を転換期として受注内容が大型化し、製造期間が長期化したことにより間接作業工数が増加し、仕掛品へ配賦すべき製造固定費の金額的重要性が高まったことから、製造指図書に配賦されていなかった製造固定費を、直接作業工数を基準に各製造指図書番号に再配賦することにより、製造指図書単位の原価計算をより精緻に行うことを目的としたものです。

なお、当該製造固定費の配賦基準の見直しを過年度に遡及して実施した場合の過年度各連結会計年度の連結財務諸表への影響は重要性がないことから、当中間連結会計期間において期首の累積影響額26億5百万円を一括して特別利益に計上しております。

この見直しにより、従来の方法によった場合に比べて売上原価は15億74百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ同額増加し、税金等調整前四半期純利益は41億79百万円増加しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年6月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年6月期 第3四半期末	増 減		(参考) 平成19年6月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	15,832	22,810	6,979	44.1	11,889
2. 受取手形及び売掛金	77,419	77,299	△120	△0.2	87,399
3. たな卸資産	105,739	87,242	△18,497	△17.5	96,561
4. 繰延税金資産	4,398	4,396	△2	△0.1	4,723
5. その他	4,743	4,524	△219	△4.6	7,558
6. 貸倒引当金	△216	△169	47	—	△253
流動資産合計	207,914	196,102	△11,812	△5.7	207,876
<b>II 固定資産</b>					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築物	28,791	42,587	13,797	47.9	38,308
2. 機械装置及び運搬具	19,057	24,711	5,654	29.7	21,068
3. 工具器具及び備品	2,868	3,769	901	31.4	3,198
4. 土地	8,681	9,569	888	10.2	8,915
5. 建設仮勘定	14,446	11,998	△2,448	△17.0	10,333
有形固定資産合計	73,842	92,634	18,792	25.5	81,822
(2) 無形固定資産					
1. のれん	171	—	△171	—	218
2. その他	3,635	3,552	△83	△2.3	3,593
無形固定資産合計	3,806	3,552	△254	△6.7	3,811
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	15,619	7,941	△7,678	△49.2	15,555
2. 差入保証金	1,353	1,704	351	26.0	1,392
3. 繰延税金資産	4,194	5,414	1,221	29.1	4,338
4. その他	3,025	3,011	△14	△0.5	3,096
5. 貸倒引当金	△133	△268	△135	—	△315
投資その他の資産合計	24,058	17,803	△6,255	△26.0	24,068
固定資産合計	101,706	113,989	12,283	12.1	109,701
資産合計	309,621	310,091	471	0.2	317,577
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 支払手形及び買掛金	76,027	56,080	△19,947	△26.2	72,099
2. 短期借入金	46,757	58,632	11,875	25.4	33,715
3. コマーシャル・ペーパー	10,000	8,000	△2,000	△20.0	10,000
4. 未払法人税等	2,430	1,506	△924	△38.0	3,940
5. 前受金	22,314	18,664	△3,650	△16.4	24,980
6. 繰延税金負債	—	5	5	—	1
7. 賞与引当金	1,378	1,344	△34	△2.5	1,640
8. 役員賞与引当金	345	296	△49	△14.1	497
9. 製品保証引当金	2,790	3,302	512	18.4	2,897
10. その他	15,923	14,500	△1,423	△8.9	19,698
流動負債合計	177,964	162,329	△15,635	△8.8	169,467

科 目	前年同四半期末 平成19年6月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年6月期 第3四半期末	増 減		(参考) 平成19年6月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>II 固定負債</b>					
1. 社債	200	200	—	—	200
2. 新株予約権付社債	—	15,500	15,500	—	15,500
3. 長期借入金	27,779	25,925	△1,855	△6.7	24,926
4. 退職給付引当金	10,858	12,247	1,390	12.8	11,394
5. 役員退職慰労引当金	666	750	84	12.7	714
6. 繰延税金負債	—	0	0	—	1
7. その他	969	2,964	1,995	205.8	1,010
固定負債合計	40,472	57,587	17,114	42.3	53,745
負債合計	218,435	219,916	1,480	0.7	223,212
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	13,468	13,468	—	—	13,468
2. 資本剰余金	14,695	14,695	—	—	14,695
3. 利益剰余金	55,844	58,718	2,874	5.2	57,955
4. 自己株式	△7	△9	△2	—	△7
株主資本合計	84,001	86,872	2,872	3.4	86,111
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券評価 差額金	1,304	439	△865	△66.3	1,461
2. 為替換算調整勘定	1,842	△943	△2,785	—	2,747
評価・換算差額等合計	3,146	△504	△3,650	—	4,208
<b>III 少数株主持分</b>	4,038	3,808	△230	△5.7	4,047
純資産合計	91,185	90,176	△1,009	△1.1	94,365
負債及び純資産合計	309,621	310,091	471	0.2	317,577

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年6月期 第3四半期	当四半期 平成20年6月期 第3四半期	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
	100.0%	100.0%			100.0%
<b>I 売上高</b>	169,025	171,742	2,717	1.6	239,151
<b>II 売上原価</b>	135,783	140,312	4,529	3.3	192,700
売上総利益	33,242	31,430	△1,812	△5.5	46,451
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	21,118	26,704	5,586	26.5	29,826
1. 販売費	7,429	12,394	4,965	66.8	10,401
2. 一般管理費	13,689	14,310	621	4.5	19,425
営業利益	12,124	4,726	△7,398	△61.0	16,625
<b>IV 営業外収益</b>	2,056	1,457	△599	△29.1	3,162
1. 受取利息	113	115	2	1.6	145
2. 受取配当金	88	148	60	68.3	194
3. 受取手数料	219	169	△50	△22.7	274
4. 受取賃貸料	111	88	△23	△20.7	157
5. 持分法による投資利益	—	23	23	—	—
6. 為替差益	—	—	—	—	290
7. ロイヤルティー収入	33	3	△30	△90.2	48
8. 受取保険金	11	38	28	262.0	4
9. 海外子会社付加価値税還付金	495	93	△402	△81.2	624
10. その他	986	779	△207	△21.0	1,427
<b>V 営業外費用</b>	1,866	2,831	965	51.7	3,683
1. 支払利息	684	979	295	43.2	949
2. たな卸資産評価損	476	907	431	90.5	1,199
3. たな卸資産除却損	18	18	0	0.8	92
4. 賃貸資産経費	202	372	170	84.1	278
5. 持分法による投資損失	86	—	△86	—	560
6. 為替差損	60	161	101	168.6	—
7. 海外子会社付加価値税 還付手数料	186	—	△186	—	206
8. その他	155	394	240	154.7	399
経常利益	12,314	3,352	△8,962	△72.8	16,105
<b>VI 特別利益</b>	151	2,823	2,672	—	402
1. 固定資産売却益	7	2	△5	△67.0	—
2. 貸倒引当金戻入額	63	122	59	92.4	154
3. 投資有価証券売却益	—	64	64	—	—
4. 補助金受入益	75	7	△68	△90.3	235
5. 持分変動利益	—	9	9	—	—
6. 過年度製造間接費配賦 差額	—	2,605	2,605	—	—
7. その他	5	13	8	144.6	14

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年6月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年6月期 第3四半期〕	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>Ⅶ 特別損失</b>	2,468	600	△1,868	△75.7	2,880
1. 固定資産除却損	312	304	△8	△2.5	533
2. 固定資産売却損	23	0	△22	△96.9	—
3. 投資有価証券評価損	—	7	7	—	36
4. 関係会社出資金評価損	—	—	—	—	69
5. 持分変動損失	4	—	△4	—	—
6. 減損損失	2,114	266	△1,848	△87.4	2,159
7. その他	14	22	8	59.8	83
税金等調整前四半期(当期)純利益	5.9% 9,997	3.2% 5,575	△4,422	△44.2	5.7% 13,627
法人税、住民税及び事業税	5,224	2,937	△2,287	△43.8	7,307
法人税等調整額	△615	△334	280	—	△1,148
少数株主損失	—	△33	△33	—	—
少数株主利益	145	—	△145	—	133
四半期(当期)純利益	3.1% 5,242	1.8% 3,005	△2,237	△42.7	3.1% 7,335

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 〔平成20年6月期〕 第3四半期	(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,575	13,627
減価償却費	7,438	7,980
退職給付引当金の増加額	808	1,084
製品保証引当金の増加額	452	77
固定資産除却損	304	533
受取利息及び受取配当金	△263	△339
支払利息	979	949
売上債権の減少額(△増加額)	8,893	△2,837
たな卸資産の減少額(△増加額)	4,782	△18,739
仕入債務の増加額(△減少額)	△15,797	2,687
前受金の増加額(△減少額)	△1,102	2,293
その他	5,126	2,752
小計	17,195	10,066
法人税等の支払額	△5,710	△8,413
利息及び配当金の受取額	264	383
利息の支払額	△992	△905
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,757	1,131
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	402	23
投資有価証券の取得による支出	△437	△2,122
有形及び無形固定資産の取得による支出	△20,056	△27,809
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,838	2,965
その他	△1,178	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,431	△26,850
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増加額	20,028	9,549
新株予約権付社債の発行による収入	—	15,500
配当金の支払額	△2,016	△1,587
その他	36	276
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,047	23,738
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△669	658
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)</b>	8,704	△1,322
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	11,664	10,515
<b>VII 新規連結による現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,464	2,472
<b>VIII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	21,832	11,664

(注) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、当期が四半期開示初年度のため、前年同四半期についての記載は行っておりません。

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

科目	前年同四半期（平成19年6月期第3四半期）				
	真空関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	144,738	24,287	169,025	—	169,025
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	350	5,633	5,983	(5,983)	—
計	145,088	29,920	175,008	(5,983)	169,025
営業費用	134,188	28,830	163,018	(6,116)	156,901
営業利益	10,900	1,090	11,990	133	12,124

(単位：百万円)

科目	当四半期（平成20年6月期第3四半期）				
	真空関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	142,118	29,624	171,742	—	171,742
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	312	4,104	4,416	(4,416)	—
計	142,430	33,728	176,158	(4,416)	171,742
営業費用	137,813	34,073	171,886	(4,870)	167,016
営業利益又は営業損失 (△)	4,617	△345	4,272	454	4,726

(単位：百万円)

科目	(参考) 前連結会計年度（平成19年6月期）				
	真空関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	206,648	32,503	239,151	—	239,151
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	812	8,185	8,997	(8,997)	—
計	207,460	40,688	248,148	(8,997)	239,151
営業費用	192,797	39,121	231,918	(9,393)	222,526
営業利益	14,663	1,567	16,230	396	16,625

## 平成20年6月期 第3四半期財務・業績の概況(連結) 補足資料

## 【受注及び販売の状況】

## (1) 受注高及び受注残高

## 受注高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第3四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第3四半期)
真空関連事業	177,064	162,942
その他の事業	31,149	26,130
合 計	208,213	189,072

## 受注残高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第3四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第3四半期)
真空関連事業	139,297	132,828
その他の事業	9,643	8,417
合 計	148,940	141,245

(注) 消費税等は含んでおりません。

## (2) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第3四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第3四半期)
真空関連事業	142,118	144,738
その他の事業	29,624	24,287
合 計	171,742	169,025

(注) 1. 消費税等は含んでおりません。

## 2. 真空関連事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合

(単位：百万円)

品目	当四半期 (平成20年6月期第3四半期)		前年同四半期 (平成19年6月期第3四半期)	
	販売高	割合	販売高	割合
ディスプレイ及び電子部品製造装置	82,313	57.9 %	84,210	58.2 %
半導体製造装置	26,784	18.8	26,493	18.3
コンポーネント	18,868	13.3	19,823	13.7
その他	14,153	10.0	14,213	9.8
計	142,118	100.0	144,738	100.0

(注) コンポーネントは、真空ポンプ、真空計測器、部品・電源・ソフトウェアであります。